

42 そ ば

区 分	持続性の高い農業生産方式の内容	施用の目安等
有機質資材 施用技術	○ たい肥等有機質資材施用技術 土壌診断に基づき、適切に完熟たい肥等を施用する。	0.5 t/10a
化学肥料 低減技術	○ 有機質肥料施用技術 有機質肥料を用いた施肥体系とする。	化学合成窒素量 1kg/10a 以内
化学農薬 低減技術	○ 機械除草技術 除草機械（中耕同時作業）により雑草を駆除する。（園地周辺での害虫発生助長植物除草も含む） ○ 生物農薬利用技術 生物由来の有効成分である農薬の利用により病害虫を駆除する。 ・生物農薬：B T剤（ハモンヨトリ）など ○ フェロモン剤利用技術 フェロモン剤の利用により害虫の交信を攪乱させる。 ・リトルア剤（ハモンヨトリ）など ○ マルチ栽培技術 稲わら等利用により有害動植物のまん延を防止する。	化学合成農薬成分回数 1成分以内
その他の留意事項 有機質資材施用で肥料効果が期待できる時は減肥する。		